

特別支援学級 生活単元学習 学習指導案

日 時 平成 28 年 11 月 9 日 (水) 5 校時

対 象 さくら・ポプラ・こぶし学級

1 年男 3 名 女 2 名

2 年男 2 名 女 1 名

3 年男 1 名 女 3 名 合計 12 名

指導者 菅原栄子(T1) 佐藤寿彦(T2) 成瀬幸子(T3)

小原久仁子(支援員)

場 所 調理室

1 単元名 スマイル喫茶店を成功させよう

2 題材名 スマイル喫茶店へようこそ

3 生徒の実態

本校の特別支援学級は、さくら学級（知的）ポプラ学級（自閉症・情緒）こぶし学級（病弱・身体虚弱）の3学級が設置されている。それらの学級の頭文字をとって校内で「さぼこ学級」と呼んでいる。今年度は1年生が5名入学し、合計12名の生徒が1教室で、国語・数学・英語の授業以外の時間はほとんど全員そろって学習している。4月に入学した1年生も中学校生活に慣れ、学年の枠を超え毎日元気に過ごしている。時折、心理的な要因等から、活動への参加が困難になる生徒がいるが、ほとんどの生徒は活動内容を把握でき基本的な生活や学習に対する構えはできている。教師の問いかけに対しては、積極的に発言をする生徒、反応があまり見られず理解できているか判断の難しい生徒もいる。また、理解できない時や困った時に、自発的に質問したり支援を求めたりすることのできる生徒、周囲の状況を見ながら行動しようとする生徒、教師や友達からの支援を待つ生徒と実態はさまざまである。障がいの特性上、生徒の多くは初めての場面や活動では見通しを持っていないことから、心理的に不安定になって活動にスムーズに取り組みなかつたり、自分の意に沿わない時にかんしゃくを起こしたりする生徒もいる。また、興味・関心のない課題・題材では、活動に集中できず、別の事をしたりする生徒もいる。

そのような中、毎日さまざまなトラブルが起きるが、それは12名という人数の学級集団であること、コミュニケーションに課題のある生徒達が、感情の行き違いがあつたり自分の気持ちを上手にコントロールしたり、気持ちを切り替えることができなかつたりすることなどが起因として考えられる。その様々な場面では、一つ一つのケースに寄り添い課題解決の手だての場面を的確にとらえて支援していくことが、社会生活能力を身につけさせることにつながるものと捉えて指導に心がけている。

(よく分かる・よくできる◎ 分かる・できる○ 支援が必要☆)

	内 容	本単元にかかわる実態											
		1 S 男	1 T 男	1 I 女	1 M 女	1 S Y 男	2 M 男	2 T 男	2 K 女	3 K 女	3 M A 女	3 N 男	3 M I 女
社会性・ コミュニケーション面	自分から進んで挨拶ができる	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	☆	☆	○
	ことばで意思表示ができる	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	敬語を正しく使い分けられる	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	☆	☆	◎
	相手の立場を考えて話すことができる	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
	簡単な指示が理解できる	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	感情のコントロールができる	○	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	☆	☆	○

調理などの技能面	必要な調理器具を準備できる	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ナイフなどの刃物を注意して使える	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	こぼれないように盛り付けができる	◎	◎	◎	◎	◎	☆	◎	◎	◎	◎	◎	☆
	お盆に食器をのせてこぼさないように運ぶことができる	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
	決められた時間内に作業ができる	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	☆	◎	☆
	誰とでも協力して活動できる	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎

4 単元について

本校の特別支援学級は、以前から「スマイルレストラン」と称して、学期末の2回、教職員を対象に注文を取り昼食を食べていただくという生活単元学習を行っている。どんなメニューにするか、予算に見合う食材はどんな食品がいいか、各係を決めてポスターを作ったりチケットを作ったりと事前の学習が大きなウエイトを持っている。当日の食数は自分たちの分も含めて約40食を用意する。食べていただいて先生方に「おいしい。」と評価してもらえるように、時間内で一生懸命調理するという、長時間立ちっぱなしの活動である。片づけの段階はもうへとへとになるのだが、やり遂げた充実感で満たされた表情が生徒たちの自己肯定感が高まったことを表す。自分の持っている力を皆で出し合って『誰かのために何かをやりとおす』ことの意義は大きいと考える。

本単元の「スマイル喫茶店へようこそ」は、開店に向けての企画、ポスターや装飾制作（技術との関連）テーブルセッティングの準備（美術との関連）、調理実習（家庭科・数学との関連）、言葉遣いやふるまいなどの望ましい人との接し方（道徳との関連）、そして当日のおもてなし活動、事後の礼状作成やまとめのレポート作成（国語との関連）を主な学習内容とし、生徒一人ひとりが作業活動や調理活動を通してできる喜びを味わわせることによって主体性を育てたり、コミュニケーション力を高めさせたりするきっかけとしたいと考え本単元を設定した。

5 指導にあたって

学級のほとんどの生徒は、自分の思いや考えをスムーズに言葉で表すことが苦手で、大人を介して思いを伝える場面が多々ある。生徒たちには、適切なことばや態度での表現のスキルを身に付けさせ、さらに集団の中での様々な活動の中で経験を積ませることで自信を持たせ、自分にできることをやってみようとする意欲を持たせていく必要がある。そこで、この単元では接客の基本的なあり方を学習内容として取り上げ、繰り返し学習する。その学習を進めていくときに、自分の立場や都合ばかりを押しつけてしまったり、うまく伝えられなかったりして自信をなくしてしまうことも予想されるので、楽しい活動を通して学習したり、固くならず自分の伝えたい情報を適切に相手に伝えられるように、手だてを組み、人間関係作りに自信を持たせていきたい。

また、日常の学習場面で感じることは、生徒達は『学びたい』『できるように、わかるようになりたい』という欲求を持っているということである。どの生徒も充実感を味わえるような授業を組み立てていくためには、本校の研究主題にあるユニバーサルデザインの手法を通して展開していくことが有効と考える。具体的には、学習の意欲を高めるために「ねらいが明確な授業を行うこと」「導入に工夫を図ること（視覚に訴える情報提示）」、時間の見通しをもたせるために「学習の流れを提示すること（場や時間の構造化）」、主体的に学習させるために「個に応じた指導の工夫を図ること（スモールステップの指導等）」これらを重点的に取り組んでいる。

6 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・決められた時間内にさまざまな作業の見通しを持って、活動することができる。
- ・グループやペアでの学習場面では、声をかけ合うなど協力し合うことができる。
- ・困った時や迷った時に、言葉で支援を求めることができる。
- ・基本的な調理を体験し、自信を持って調理できる。
- ・目上の方に対して望ましいふるまいがわかり、正しい言葉遣いができる。

(2) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・進んで作業をしようとする。 ・調理実習した料理を家庭でも作ろうとする。 ・自分や友達の頑張りを認め合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを相手に伝えたり発表したりする。 ・接客の仕方を学び、実際にやろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な調理ができる。 ・場に応じた態度や言葉遣いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて会う方に対してどのように接すればよいかがわかる。

7 指導計画 (15 時間)

時間	学習項目	活動内容および指導のねらい
1	調理に慣れよう (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・調理手順の簡単な「みたらしだんご」の調理を通して、調理室の使い方に慣れる。 ・手順表を見ながら、調理ができる。 ・わからないことや困った時に、聞いて解決しよう。
2	「スマイル喫茶店」について	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期行った「スマイルレストラン」で、何を頑張ったかをお互い発表し確認する。 ・他の学校の先生方をゲストにして、あまり会話をしたことの無い方々に対しておもてなしの学習をすることは意義があるということを知る。
3	必要な係を決め、分担をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターや飾り付け、テーブルセッティングの係を分担し、自分の役割がわかる。
4 ～ 6	ポスターや喫茶店の飾りなどを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って制作を進める。 ・ポスターや飾りなどを丁寧に制作する。 ・グループ内で声をかけ合って協力し合うことができる。
7・8	おもてなしの仕方を練習しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の基本的な仕方を繰り返し練習する。 ・友達同士良い点や改善点を出し合い、望ましい振る舞いや言葉遣いができる。
9	調理に慣れよう (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・畑で収穫したさつまいもを使って、「スイートポテト」の調理をし、効率よくたくさん作る手順を知る。 ・グループで、声をかけ合い協力できる。
10・11	『スマイル喫茶店』の準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店の飾り付け、客席の準備、下ごしらえ等の活動を最後までやり通すことができる。

12	『スマイル喫茶店』へようこそ (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく丁寧な言葉でおもてなしをする。 ・相手や位置を確認しながら活動できる。
13・14	お礼状を作成しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・来店していただいた方々へお礼状を作成し、発送する。 ・丁寧な字で礼文を書くことができる。
15	『スマイル喫茶店』で体験したことをまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが喫茶店をしている写真やビデオを見て、自分や友達の頑張りに気づく。

8 本時の指導

(1) 全体目標

- ・明るく丁寧な言葉でおもてなしをする。
- ・相手や位置を確認しながら物を渡したり、置いたりすることができる。

(2) 本時の個人目標と支援

学年	名前	目 標	支 援
1	S 男	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に聞こえる声の大きさで話をする。 ・オーダーを間違えずにメモする。 ・接客で戸惑った時は、周りにいる人に聞いて解決できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って話せるように、話し方のマニュアルカードを参考にしていことを伝えておく。
1	T 男	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んでお客様に声をかける。 ・オーダーを間違えずにメモする。 ・困った時はペアの生徒と、助け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに話せないときは、話し出す言葉を側で言う。
1	I 女	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に聞こえる声の大きさで話をする。 ・オーダーを間違えずに速くメモする。 ・接客で戸惑った時は、ペアの生徒と一緒に解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って話せるように、話し方のマニュアルカードを参考にさせる。
1	M 女	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで笑顔でお客様に声をかける。 ・オーダーを間違えずにメモする。 ・困った時はペアの生徒と、助け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って話せるように、話し方のマニュアルカードを参考にさせる。
1	SY 男	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりゆっくりお客様に声をかける。 ・オーダーを間違えずにメモする。 ・あわてずに飲み物を運ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに話せないときは、話し方マニュアルを見ながら話をさせる。 ・正しいテーブルセッティングを示しておく。
2	M 男	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで、お客様に声をかける。 ・オーダーを間違えずにメモする。 ・落ち着いてこぼさないように飲み物を運ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーダー票を再確認するよう声をかける。 ・正しいテーブルセッティングを示しておく。
2	T 男	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んでお客様に声をかける。 ・オーダーを間違えずに速くメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに話せないときは、話し方マニュアルを見て話をさせる。 ・オーダー票を再確認するよう声をかける。
2	K 女	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に聞こえる声の大きさで話をする。 ・困った時はペアの生徒と、助け合う。 ・笑顔で接客する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って話せるように、話し方のマニュアルカードを参考にしていことを伝える。
3	K 女	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで、笑顔でお客様に声をかける。 ・オーダーの確認を忘れないで行う。 ・困った時はペアの生徒と助け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って話せるように、話し方のマニュアルカードを参考にしていことを伝えておく。

3	MA 女	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりとした口調でお客様に声をかける。 ・オーダーを間違えず出来るだけ早くメモする。 ・困った時はペアの生徒と助け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに話せないときは、話し方マニュアルを見ながら話をさせる。
3	N 男	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んではっきりとお客様に声をかける。 ・オーダーの確認を必ずする。 ・慌てずに飲み物を準備し、運ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って話せるように、話し方のマニュアルカードを参考にしていことを伝えておく。
3	MI 女	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで笑顔でお客様に声をかける。 ・オーダーを間違えずにメモする。 ・困った時はペアの生徒と、助け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに話せないときは、話し出す言葉を側で言う。

(3) 本時の展開

(○印 ユニバーサルデザインの手法を取り入れた指導(視点))

時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	準備物
導入 (5)	<p>参観に来ていただいた先生方にあいさつをする。</p> <p>1 始まりのあいさつをする</p> <p>2 本時の目標を確認する</p> <p>3 学習内容の流れを確認する。</p>	<p>・参観に来ていただいた先生方に「こんにちは」「いらっしゃいませ」とあいさつをする。</p> <p>・日直が元気に号令をかけ、皆であいさつをする。</p> <p>・目標を確かめる。</p> <p>スマイルレストランを開店し、おもてなしをしよう。</p>	<p>・身支度・手洗いは始業前に済ませておく。</p> <p>○姿勢を正すように促す。(ルール of 明確化)</p> <p>・今までの学習活動を振り返り、本時の目標・活動内容を確認させる。</p> <p>○前もって作ったスイートポテトを見せて意欲づけを図る。(視覚化)</p>	<p>紙板書</p> <p>スイートポテト(実物)</p>
展開 (35) (3)	<p>4 喫茶店の開店準備をする。</p> <p>① 接客のポイントの確認を全体で行う。</p>	<p>・指導者のロールプレイを見て、接客のポイントをあげる。</p> <p>笑顔で対応すること。いやな思いをさせないこと。 丁寧な言葉ではっきり話しかけること。 オーダーを間違えずお運びをすること。</p>	<p>○前時まで学習したことを生徒に発表させ、態度や服装の面と具体的な接客マニュアルの2点について黒板に簡潔にまとめて確認する。(スパイラル化)</p> <p>○これらを行うことが『おもてなしをすること』であることを強調する。(焦点化)</p>	紙板書
(5)	② 接客の練習をする。	<p>・これまでの学習を想起して接客の練習をし、ポイントを再度確認する。</p>	<p>・A、BペアはT3、C、DペアはT2、E、FペアはT1と支援員が主に支援にあたる。</p>	

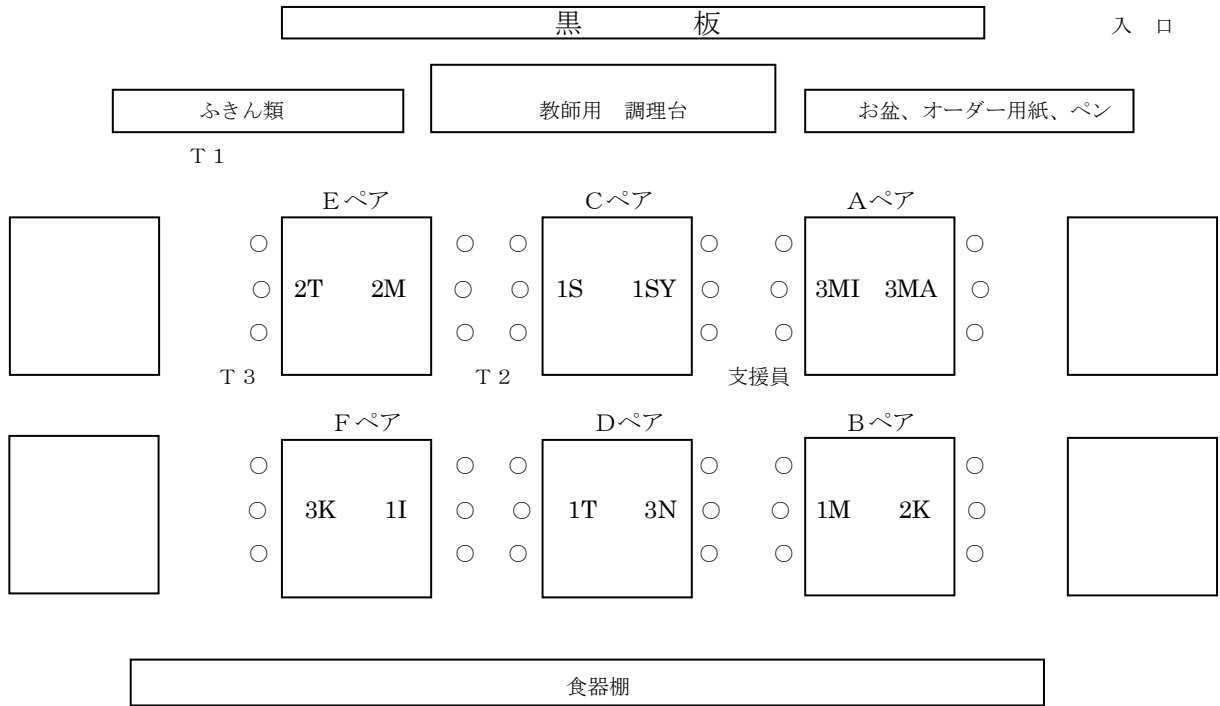
(17)	5 喫茶店を開店する。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様にテーブルに着いていただき、実際に接客の活動を行う。 ①接客 ②飲み物の注文を受ける。 ③スイートポテトと飲み物の準備をする。 ③お運びをする。 ④感想をうかがう。 ⑤お下げする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員がオーダー票を正しく活用しているか、接客マニュアルに従って活動をしているかを確認する。不足している点があればアドバイスをする。 ○必要な生徒には接客マニュアル表を持たせ、支援をしながら活動をさせる。自信をもって活動させるようにする。(視覚化) ○練習の成果を生かして活動し、全員が成就感をもてるように、一人一人の支援一覧表にもとづいて、個に応じた支援を行う。必要に応じて、随時肯定的な評価をしながら、自信をもって活動が継続できるように支援を行う。(スモールステップ化) 	<p>オーダー表 接客マニュアル表 鉛筆 トレー</p>
終末 (10)	6 感想発表 7 終わりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の感想発表をする。 ・日直が元気に号令の挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できたことなどプラス面を評価する。 ・本時の目標が達成できたかを感想に入れさせるようにする。 ○姿勢を正すように促す。(ルール of 明確化) 	

(4) 本時の評価

- ・明るく丁寧な言葉でおもてなしができたか。
- ・相手や位置を確認しながら物を渡したり、置いたりすることができたか。

(5) 配置図

<開店前>



<スマイル喫茶店>

